



2016 ~ 2017 年度
R I テーマ

Rotary Serving Humanity
人類に奉仕するロータリー

国際ロータリー会長 ジョン F. ジャーム (国籍・アメリカ)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12 時 30 分
ところ 別府亀の井ホテル 〒874-0936 別府市中央町5-17
TEL (0977) 22-3301 FAX 21-1232
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル 3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail: info@beppu4rc.jp

理事	梶原 和朗	理事	近藤 賢司	役員	会長	梶原 和朗	S A A	平野 教康
〃	佐々木久宜	〃	村津 忠久	副会長	副会長	佐々木久宜	直前会長	平野 教康
〃	平野 英壽	〃	後藤 隆	幹事	幹事	梅津 圭二		
〃	亀井 孝	〃	森園 伸也	会計	会計	土谷 昌志		

VOL. 29 - 33
2017 年 3 月 7 日

第 1317 回 例会

会報委員長 森 宗明

- ◆点 鐘 12 : 30
- ◆国 歌 君が代
- ◆R S 奉仕の理想
- ◆唱 歌 うれしいひなまつり
- ◆ゲ ス ト 杉本孝生氏 (株)リフライ副社長)

◆出席報告 委員長 津末美代子

本日 の 出 席	会 員 総 数	26 名
	出 席 者	17 名
	事前メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	4 名
欠 席 数	出 席 率	77.27 %
	出 席 率	77.27 %
前々 回 の 訂 正	出 席 率	55 %
	事後メイクアップ	3 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	6 名
	修 正 出 席 率	70 %

連 続 - 回
通 算 750 回 100 %

会長の時間 会長 梶原 和朗

みなさんこんにちは。
会長の梶原です。

先週はクラブ協議会を欠席してしまい申し訳ありません。

本日の会長の時間ですが2点あります。

まず1点は昨日、湯布院ロータリークラブの田内会長が当社まで来られ、鳴海先生と衛藤さんと後藤さんにお見舞金を持ってこられました。

クラブを代表して私が受け取りました。

今度湯布院クラブさんの例会にお礼を兼ねて出席してきます。

次に、3月20日に行われる紅葉谷の植樹活動に別府市長の長野市長がお越しになる事が決ま

・メイクアップ

事前

事後 堀、前田 (別府東)

西馬 (地区管理運営広報合同セミナー)

欠席 後藤、堀、中尾、大島、土谷

理事会承認

出席免除 溝部、河村、平野(英)、木村

した。

当日のみなさんの出席者をお願いします。

クラブみんなで奉仕をしている所を市長にも見ていただきたいので、よろしくをお願いします。

以上で会長の時間を終わります。



幹事報告

梅津 圭二

一水と衛生月間一

1. 本日の卓話

「(株)リフライの取り組みと介護の将来」
前田哲矢会員／
(株)リフライ副社長 杉本 孝生 氏

2. 本日のゲスト

^{すぎもと}杉本 ^{たかお}孝生 氏 (株)リフライ副社長)

3. 3月4日(土) 10:00～ホルトホール大分に於いて「2016-2017年度管理運営・広報合同セミナー」が開催され、西馬良和会員、森宗明会員が出席致しました。

4. 本日、8:30～石垣小学校に於いて「第5回別府中央RC子どもの善行表彰」が開催され、西馬良和会員、高宮勝美会員が出席致しました。

5. 委員会報告

「管理運営・広報合同セミナー報告」
森 宗明広報委員長より

6. お祝い

会員誕生日 前田哲矢会員 (3月9日)
※記念品をお渡し致します。
結婚記念日 前田哲矢会員 (3月10日)
※ご自宅にフラワーギフト券が届きます。
皆 勤 近藤賢司会員(3月2日=20年)

7. 例会変更のお知らせ

日出RC 3月21日(火)の例会は、職場体験例会の為、同日12:00～今村農園に場所変更
湯布院RC 3月22日(水)の例会は、定款第8条第1節(C)に基づき休会
大分東RC 3月23日(木)の例会は、夜の例会の為、同日18:30～丸福に時間・場所変更
別府東RC 3月23日(木)の例会は、奉仕プロジェクト開園式例会の為 3月20

日(月・祝) 12:30～光の園グループホームに日時・場所変更

中津平成RC 3月23日(木)の例会は、夜間例会の為、同日19:00～グランプラザ中津ホテルに時間変更

大分南RC 3月24日(金)の例会は、地区大会振替の為、3月25日(土)12:30～ホルトホール大分に日時・場所変更

8. 次週例会の予定

「大分第3グループIM」
※3月14日(火)の例会を変更し、3月11日(土)15:00～亀の井ホテルに於いて開催いたします。

9. 本日の回覧

- ①「大分第3グループIM」出・欠席
- ②「もみじ谷植樹作業」出・欠席
- ③「別府市近隣7RC合同親睦ゴルフ大会」出・欠席
- ④「夜例会」出・欠席
- ⑤「花見例会」出・欠席

10. 本日の配布

- ①ロータリーの友3月号

スマイルボックス 委員長 高宮 勝美

○梅津会員

今日は杉本様、卓話よろしくお願ひいたします。

○森園会員

お久し振りです。

○衛藤会員

早くも3月。今朝はちょっと冷えましたがね。春は名のみです。

先日は火事のお見舞い、過分に頂きありがとうございました。感謝してスマイル。

○西馬会員

(株)リフライ副社長の杉本様、本日はようこそ。卓話楽しみにしています。

さて、先日の土曜日に大分ホルトホールで行



われた管理運営・広報合同セミナーに幹事エレクトとして森会員と一緒に参加してきました。次年度はクラブのIT化が更に必要な様です。詳細は森さんの方からお願いしたいと思います。

最後に、本日善行表彰に石垣小学校に行ってきました。寒い朝でしたが子供達は暖房もない学校でとても元気で、また僕も元気をもらいました。

○近藤会員

今日はリフライの杉本さんの卓話を楽しみにしています。万が一、杉本さんが遅刻したら時間つぶしにカラオケを一曲歌ってくれと前田さんに頼まれていたのですが、時間通りに入ってきたので大安心しました。

○前田会員

誕生日、結婚祝とありがとうございます。又、今日は卓話で私共の会社の紹介を杉本が致しますのでよろしくお願い致します。

○村津会員

「鶴見岳一気登山」の関係でお世話になりました向井病院の向井弘樹先生が、2日夜に御逝去、一昨日が御葬儀でした。

30年の間、何をお願いに上がっても、只の一度も「NO」はありませんでした。

大きな感謝を込めて御冥福を御祈り申し上げます。

○高宮会員

リフライ杉本副社長、卓話を楽しみにしています。

講演の骨子

- 1) My Rotaryへの登録をしましょう
- 2) 具体的には パソコンかタブレットのメールアドレスの申請が不可欠
- 3) 会員ID 氏名のアルファベット表記が必要(事務局で管理して居ます)
- 4) 役員・委員長それぞれに資料が用意されています。
- 5) 手続き要覧や指名委員会委の結果等全ての最新の資料が用意されています。
- 6) これらを統括して「クラブセントラル」と呼んでいます。
- 7) アメリカで50%弱 日本で10%ほどが登録されています。

どう対応してゆくか

本年度会長・幹事、会長幹事エレクト、特に幹事には必須の事になります。私たちのクラブでは、会長、幹事と森が登録して必要な資料はそれぞれがダウンロードをして事務局でプリントして、会員に配布…と言う形を取るのが現実的と考えます。

卓話



弊社の取組みと介護の将来

株式会社リフライ 取締役副社長
杉本 孝生

弊社の取組み

弊社は創業7年目の会社で、現在約55名のスタッフと共に訪問介護事業と放課後等デイサービス事業を基幹とした事業を行っています。訪問介護事業の利用者様のほとんどが身体障害者で、在宅での身体介護や家事援助を中心に行い、また放課後等デイサービス事業では、北浜本社と石垣支店の2拠点があり、小学校1年生から6年生が北浜、中学生・高校生が石垣という振り分けで行っています。一言で“障害者”と言ってもその種別や特性は様々であり、それぞれに合った支援を提供することは容易ではありません。そこ

委員会報告 広報委員長 森 宗明

2016~2017年度

管理運営・広報合同セミナー報告

日時：平成29年3月4日 10:00~12:00

参加：西馬・森

会場：ホルトホール大分

講師：森川 治雄

マイロータリーへの登録とログインについて



で、訪問介護事業では「利用者様主体のサービスを提供」、放課後等デイサービス事業では「子供たちの長所を見極めて伸ばす」事を念頭にサービスを提供しています。

さて、話は変わりますが、弊社では6名の障害者を雇用しています。その障害種別は主に身体障害者で、重度の方ばかりです。業務内容は主に自社の広報や相談支援事業での相談員ですが、パソコンを使った業務が多く、腕の可動域が狭い人にとっては肩こりや頭痛の原因となっていました。

それを解消すべく、身体障害者向けパソコン用キーボードを考案し、大分大学知能情報システム工学科の中島教授と3年前から共同研究をスタートしました。

キーボードと申しましても、皆様がイメージされる様なボタンがついた樹脂製のものではなく、タブレット端末やスマートフォンなどのタッチパネルデバイスの画面上にキーボードを表示するというものです。タッチパネルを使用するメリットは、画面の切り替えにより様々な機能が表示されることと、ユーザーの特性に合わせて大きさ調整や色調整が自由に出来るという点です。また、専用アーム等を使用することにより自由自在に設置ができ、楽な姿勢を保つことができるのです。

昨年度は「第13回大分県ビジネスプラングランプリ」にて“優秀賞”を頂き、本年度は「第14回日本商工会議所青年部ビジネスプランコンテスト」にて準グランプリに当たる“会長賞”を受賞し、特許取得にもこぎ着けました。このキーボードの特徴は、身体（特に上肢）に障害があっても楽に入力できる様に開発されており、一本指での入力や体幹が弱く安定した座位が取れない方にとって非常に有効な入力方法であるということです。

現在は、インターネット上で資金提供して下さる方を募集する「クラウドファンディング」を実施する計画があり、本年3月中を目途に実施する予定です。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

介護の未来

現在の介護職員数はすでに不足しており、約20年もすれば40万人以上の介護職員が不足するという統計があります。

国としても「外国人労働力の確保」を検討し、「ロボットによる介護」や介護職員の肉体労働をサポートする機器の開発に力を入れるなど、様々な手段を講じていますが、いずれも解消の為の特効薬とはなっていません。

毎年のように膨れ上がる社会保障費を抑制しようと、近年特に力を入れている政策が「介護予防」と「地域移行」です。

この政策は何も新しいものではなく、以前より提唱されていて実施している地域も存在します。

「介護予防」は、要介護者にならないために元気な高齢者を増やしましょうというもので、実際にアクティブシニアが増加したことで保険給付費抑制に一役買った地域もあります。別府市においても昨年度事業者向けの説明会があり、本格的に乗り出す旨の説明がありました。ただ、現場では介護予防に精通した事業所や職員は少なく、人材育成が今後の課題となっています。

そして、もう一つの政策が「地域移行」です。これは、障害者総合支援法制定の頃から謳われており、障害福祉の世界では以前より提唱されてきました。“障害があっても住み慣れた地域で生活する権利”があるとの観点から、障害者自らがこの権利を訴えていたのです。これまでの閉鎖的な社会においては、障害を負った者は施設への入所が前提という時代でした。そして、高齢者福祉もその傾向にあり、現在も高齢化すれば施設への入所が前提です。しかし、国の方向性はこれまで通りに箱ものばかりを作り続けるのではなく、高齢者も地域に住まいながら必要な支援のみを受けて生活することでより豊かな生活が送れ、また社会保障費の抑制にも繋がると考えています。

近くに家族がいない等の理由で、入所生活の方が安定した生活が送れる方がいる一方で、出来る限り我が家での生活を望む方もいらっしゃいます。

我々事業所としましても、高齢者でも障害者でもその方のライフスタイルを選ぶ権利を尊重し、その方にあった支援を提供することを常に心がけてサービスを提供する事が求められていると思います。